

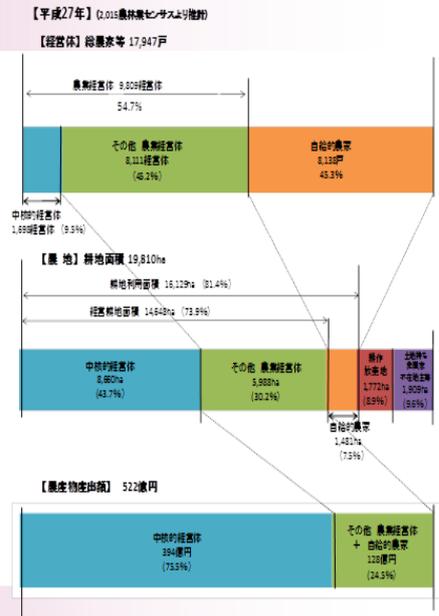
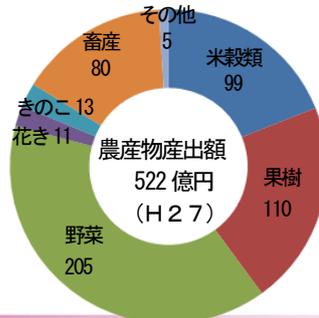
[7] 松本地域の発展方向(案)

松本市・塩尻市・安曇野市・麻績村・生坂村
山形村・朝日村・筑北村

[豊かな水と大地の力を結集！ 未来につなぐ松本農業]

農業・農村の特徴

- ・当地域では、多様で豊かな自然や風土と、大消費地に比較的近い立地を活かして農業が展開されています。
- ・水田地帯では、豊かな用水を活用し、水稲とともに、麦・大豆等が生産され、大規模な農業法人・集落営農組織も育っています。
- ・畑作地帯では、灌漑用水を活用した葉野菜等の特産野菜、りんご等の果樹など、県内屈指の産地が築かれています。
- ・畜産や、水産も盛んに行われており、近年は、夏秋いちごやワイン用ぶどうなどの生産も増加しています。
- ・農業者の約7割が65歳以上と高齢化が進み、地域農業を継承する体制づくりが課題となっています。



めざす姿

I 次代へつなぐ松本農業

- 地域の農業を牽引する中核的経営体が、整備・集積された基盤をフルに活用して、効率的で生産性の高い営農を展開するとともに、次代を担う若手農業者が育っています。
- 立地条件や風土を活かし、安全・安心で環境にやさしい生産技術を基礎として、県オリジナル品種等マーケットニーズに応える高品質な農産物^(※)の生産や新技術導入等により、個性豊かで、信頼される総合供給産地として発展しています。(※:農産物には、畜産物、水産物を含みます。(以下同じ))
- 松本地域特産の農産物について、その魅力が広く発信されて多様な取引が行われるとともに、6次産業化がビジネス展開されています。

II 消費者とつながる松本の「食」

- 「おいしい信州ふード(風土)SHOPをはじめ、多くの販売店等において、松本地域の魅力ある農産物や加工品が盛んに供給・発信されています。
- ホテルや旅館、飲食店などで、松本特産の食材を活用した食事が提供され、豊かな自然や上高地などの景勝地とともに、地域の魅力として享受されています。
- 学校や地域における食育活動の展開により、地域の食材のおいしさや「食と農」の大切さが理解されるとともに、健康的でバランスの良い食事が摂られています。

III 人と人がつながる松本の農村

- 中山間地域などにおいて、多様な担い手や集落営農組織等により、地域の特色を活かした活力ある農業や農村生活が営まれています。
- 農業者や地域住民など地域ぐるみでの協働により、魅力ある農村の景観や多面的機能が、農村コミュニティとともに大切に維持されています。
- 農地・農業用施設災害や鳥獣被害がなく、暮らしや農業生産が安心して行われています。

地域の特徴的な取組

- 松本地域の農業を担う新規就農者の確保と中核的経営体の育成
- 県育成のオリジナル品種等市場性や消費者ニーズの高い品目の品質向上と生産拡大

施策の展開方向

I 次代へつなく松本農業

重点取組 1

松本地域の農業を担う新規就農者の確保と経営体の育成

松本地域は、米を始め野菜類、果樹類や畜産物などの総合供給産地としての地位を確立していますが、農業者の高齢化等による生産力の低下が課題となっています。

そのため、市村やJA等と連携して、地域農業の牽引役となる「中核的経営体」の確保に向けて、新規就農者の確保、集落営農組織の育成、経営体の経営力強化を進めます。

達成指標

現状 (H28)

目標 (H34)

新規就農者数(45歳未満)
中核的経営体数
法人経営体の数

施策の展開方向

- 新規就農者の確保、栽培技術・経営管理の習得等による育成と地域への定着を支援
- 人・農地プランの推進や担い手を対象とした支援策の活用等により、認定農業者、集落営農組織等中核的経営体の確保・育成と経営の安定・発展を支援
- 地域農業を牽引する経営体や集落営農組織について法人化と経営力強化を支援
- 大型の経営体や農繁期を支える労働力の新たな確保方策の研究・検討の推進

重点取組 2

農地や水路など農業基盤の整備と農地利用の集積・集約

松本地域では、農地の整備率や利用集積はおおむね順調に推移していますが、農業用施設の更新が課題となっています。

今後は、規模拡大や高収益作物への転換等による一層の経営力強化と効率化に向けて、市村等関係機関・団体と連携し、生産基盤の整備・汎用化等を計画的に推進するとともに、農地利用についてもさらに集積と集約化を進めます。

達成指標

現状 (H28)

目標 (H34)

農業用水を安定供給する重要な用排水施設の整備か所数
(独自)農地基盤整備及び水田汎用化面積
担い手への農地の集積率

施策の展開方向

- 営農効率を高めるため、農地区画の大型化や水田の汎用化等の基盤整備を推進
- 水管理の省力化と用水の安定供給のため、老朽化が著しい水路やかんがい施設の更新を推進
- 人・農地プランの実現に向けて、農地中間管理事業等による中核的経営体への農地利用の集積・集約を促進
- 遊休農地の発生防止と再生を進め、ワイン用ぶどうなど需要のある作物生産での活用を推進

重点取組 3**消費者・実需者が求める農産物の総合供給産地の確立**

松本地域は県内屈指の農業地帯で、鮮度の高い農産物を全国に向けて供給する責任産地として、また、ニーズの高い県オリジナル品種等を始めとする、多彩な農産物を生産販売するブランド力の高い産地として引き続き、その維持発展を図ります。

さらに、生産性向上や省力化が図られる新しい技術の積極的な導入を進めるとともに、環境にやさしい生産方式や生産工程の改善等を目指した取り組みを一層推進します。

達成指標**現状 (H28)****目標 (H34)**

実需者ニーズの高い県オリジナル品種の普及面積（米、麦、そば、大豆）
りんご高密度植・新しい化栽培面積
(独自)県育成等優良品種による自給飼料の栽培面積

施策の展開方向**【共通】**

- ICTや機械収穫など新技術の導入検討と普及
- エコファーマー認定や信州の環境にやさしい農産物認証等の取り組みの促進
- 農産物の安全・安心の徹底や経営効率の向上等に向けた、生産工程の管理や改善を推進
- 商談会や銀座NAGANO等でのイベント開催による販売促進と知名度の向上
- 意欲ある農業者や、農業者と加工事業者等とのマッチングによる6次産業化ビジネスへの取り組みを支援

【米穀類及び水田活用】

- 風さやか、信州ひすいそば、ホワイトファイバー等県育成品種の生産拡大と品質向上を支援
- コシヒカリ等米の食味等品質向上対策の推進
- 需要量に応じた米生産を柱として、労力に見合う高収益作物の導入による複合経営を推進

【果樹】

- りんご高密度植・新しい化栽培の拡大とともに県育成品種の生産拡大を支援
- 消費者ニーズの高いぶどう品種やワイン専用品種の品質向上と生産拡大を支援
- 優良品種等への改植と合わせた樹園地継承による園地と産地の若返りを推進

【野菜・花き】

- 夏秋いちごや玉ねぎ等、マーケットニーズの高い品目の生産拡大や、産地における集出荷・販売体制の整備を支援
- レタス、すいか、ながいも等の地域ブランド品目の生産安定と販路拡大を支援
- ブライダル需要等ニーズに対応した花き生産の作柄安定と品質向上を支援

【畜産】

- 畜産経営の体質強化のため、県育成等優良品種による自給飼料の増産を推進
- 意欲ある畜産経営体の規模拡大と、クラスター形成のための地域ぐるみでの取り組みを支援

II 消費者とつなぐ松本の「食」

重点取組 4 松本地域の食材を活かした地消地産や食育活動の推進

地域の消費者や観光客からニーズの高い、新鮮で多彩な野菜・果実・養殖魚等やその加工品について、一層の販売促進や情報発信の強化に取り組むとともに、観光業や食品加工業との連携等により地消地産を推進します。

また、子供の頃から「食や農」への関心が大切であるため、大人も含めて継続的な食育活動について取り組みを進めます。

達成指標

現状 (H28)

目標 (H34)

売上高1億円以上の農産物直売所の数(独自)
「おいしい信州ふード(風土)」SHOP登録数
学校給食における県産食材の利用割合

施策の展開方向

- SHOPとの連携強化等「おいしい信州ふード(風土)」の取組などによる農産物の魅力向上と活用の促進
- 農産物直売所等の品揃えの充実など魅力アップと地域食材に係る情報発信の強化
- 宿泊業や飲食業の団体と連携した地域食材の利用拡大
- 学校や給食センター等との連携による給食での地域食材の活用の推進
- 農業体験や地域の食文化の伝承など食育活動を行うグループの育成と活動を支援

III 人と人がつながる松本の農村

重点取組 5 風土豊かな松本地域の農山村の活性化

松本地域の農山村において、豊かな風土や地域の特色を活かした農業を維持継承するため、担い手の確保育成、農産物生産や農村コミュニティの活性化等を支援します。

また、防災機能の強化や野生鳥獣被害の防止のため、農業・林業等の分野を超えて、市村・JA等と連携して有効な対策を講じます。

達成指標

現状 (H28)

目標 (H34)

地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積
(独自)農地等の安全確保面積
(独自)野生鳥獣による農業被害の軽減額(減少額)

施策の展開方向

- 中山間地農業を支える多様な担い手の確保・定着や集落営農組織の設立と運営を支援
- 伝統野菜など地域の特色を活かした農産物の生産販売の促進
- 直接支払制度の活用により、用水路等の維持や農産物生産の継続のほか、住民参加による地域活動の活性化を支援
- ため池の耐震補強・地すべり対策を実施し、安全安心な農村生活環境を維持
- 野生鳥獣による被害軽減のための防護柵の設置・管理等地域ぐるみでの取り組みを促進
- 小水力発電など再生可能エネルギーの有効活用を支援